



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1717号

事務所 静岡県三島市大社町17-4
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル
TEL(055)972-2122
会長 亥角 裕巳 幹事 井上 幸子



広重版画より 三島 朝霧

第1779回例会

2009.2.5曇

司 会

森崎祐治君

国歌斉唱

四つのテスト

ロータリーソング

「奉仕の理想」
指揮 前田房江君

会長挨拶

会長 亥角裕巳君

皆様こんにちは。本日は理事会がおこなわれ、テーマの一つとして当クラブのホームページについて話し合いました。今年度中に立ち上げることにについて、前年の理事会で承認され、クラブ管理運営委員会が中心となって充実した内容にすべく推進しております。よりよいホームページを作成できますように、これから皆様のご協力・ご意見をお願いします。

さて、また景気の話ですが、前年10月から12月までの上場企業の連結決算は前年同期と比較して経常利益が71%の減少だそうです。各国は世界同時不況に対応して保護貿易措置を進めており世界経済はますます沈滞、減少する傾向です。1929年のアメリカの株価暴落に始まった世界大恐慌では、保護貿易の広がり事態を悪化させ第2次世界大戦の遠因となり、日本も戦争への道を歩まざるをえなかった経緯を考えると、我が国は自由貿易の旗振り役として保護規制を廃止し世界にアピールすべきであると思います。特に人的交流について再考すべきであると思います。同じ人間同士お互いに暖かい心を交わしながら生きていかなければならないのに、経済至上主義の今日では多くの大企業が率先してリストラを行い、社会不安を増幅しています。結果他者への思いやり、関心が失われますますます冷たい世界になってきています。温かい心、慈悲心の反対は無関心であるといい

ます。もうすこし他者、他国への関心を持つことが人間らしい社会を取り戻す重要なポイントであると思います。

国際ロータリーは国際奉仕を提唱し、西ロータリークラブは永年にわたって民間レベルの国際交流として台湾ロータリークラブとの交流を続けています。資源を持たない日本は貿易立国ゆえに、大規模な国際交流、人的交流をはかり相互理解をもっともっと推進すべきである今回の不況をつうじて改めて感じた次第です。

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席正率
前々回	26/47	55.32%	39/47	82.98%
今回	44/51	86.27%	会員総数	53名

欠席者 飯田君、黒田君、諏訪部(敏)君、瀬川君、望月君、柳田君
(石井(良)君)

幹事報告

幹事 井上幸子君

①今月は国際理解月間です。2月23日はRI創立記念日です。ポールハリスと仲間により設立されて104年になります。

②今月のロータリーレートは1ドル88円です。

③今月の日程

2月19日(木)卓話 原久一君

2月26日(木)兼子ガバナー補佐第3回訪問

卓話 西本和夫君

2008~2009年度
国際ロータリー会長
李 東建(D.K.Lee)

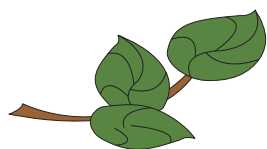
夢をかたちに

おめでとう

会員誕生日 松坂君、川真田君、西村君、
栗田君、諏訪部(敏)君、
森崎君
入会記念日 勝間田君
奥様誕生日 荒川君、西村君、伊丹君、
矢岸君
結婚記念日 田熊君、勝間田君、森崎君

スマイルボックス

- ◆西村君、先週の卓話では、石川県出身の八田與一さんについて話をされ、ダム工事のビデオを見せていただきました。私は八田さんと同じ石川県人であり、金沢で生活し、又、同じ中学校(金沢一中)に通っていました。したがって八田さんは私の大先輩にあたります。台湾の南部で行われた、とてつもない大きなダムの工事をビデオで見、その壮大な大事業に目を見張りました。十年かけて完成したダムは燦然と輝いているように見えました。素晴らしい卓話をしていただいた関本さん、小野さんに改めて深く感謝いたします。
- ◆遠藤(武)君、2月2日にひ孫が産まれました。初めてなので、嬉しいやら、年を感じ複雑な心境です。男の子です。長生きして良かったです。
- ◆伊丹君、墨絵の注文が入りました。テーマは 啄同時(そつたくどうじ)で、某大会社の社長様からの注疏です。意味もわからず調べたところ、ひよこがたまごの中からからを破って出る時、口ばしでカラをつつつく音で、母鳥が外からカラを破る手助けをする様です。小鳥の誕生、次世代へ引継ぎという、大変お目出たい絵と思い、今描いています。
- ◆小野君、去る2月3日節分にあたり大社で年男の奉仕をし豆を撒きました。
- ◆千葉君、本日の静岡新聞朝刊に載っていた、前田房江さんのご子息、とても男前が良かったです。
- ◆遠藤(正)君、佐々木さん、ありがとうございます。美しく老いてゆきたいと思います。
- ◆土屋君、名札忘れしました。



卓話

世界理解月間について

姉妹クラブ委員長 平野晴生君

世界理解月間

・1905年2月23日にポールハリスが3人の友人と最初に会合をもった。この2月を特別月間として世界理解月間に指定されている。

ロータリーの綱領第4(国際奉仕―世界理解)

奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

※綱領の内容は第1(クラブ奉仕)・第2(職業奉仕)・第3(社会奉仕)・第4(国際奉仕)となっている

世界理解のための活動資金

・主にロータリー財団の資金

(寄付金・寄付金からの収益金)

・世界理解と平和のためのロータリー財団基金

(R財団の恒久基金＝ベネファクター)

世界理解のための奉仕

・ロータリー財団のプログラム

人道的プログラム 教育的プログラム

ポリオプラスプログラム ロータリー平和プログラム

・世界社会奉仕プロジェクト(WCS)

・ロータリー青少年交換 他

世界理解のためのプログラム

1.人道的プログラム

・世界社会奉仕プロジェクト(WCS)

人々の生活を改善し、人々のニーズに応えるプロジェクト。

・3Hプログラム(保健・飢餓追放および人間性尊重)

国際間の理解、親善および平和を促進するために、人々の健康状態を改善し、飢餓を救済し、人間的社会的向上発展を図るプロジェクト。

2.教育的プログラム

・国際親善奨学金

・研究グループ交換(GSE)

・ロータリー青少年交換

※当クラブでは台湾苗栗RCとの中学生交換研修事業が今年度で23回目になります。

・ロータリー平和および紛争解決研究プログラム

タイのチェラロンコーン大学で3ヶ月間、紛争解決について学ぶもので、1年間に3ヶ月のコースが2回、各30人が選ばれる。

3.ポリオ・プラス・プログラム

4.ロータリー平和プログラム

※紙面の都合で2月の会員慶事は次号に掲載します。

(週報担当:日高 克)